

学習課題（小学校3年生）

【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。



＜学習内容＞ ※ノートか取組シートに書きましょう。

◆「詩のくふうを楽しもう」（教科書㊦88～91 ページ）に取り組めます。

- (1) 六つの詩をくりかえし音読しましょう。
- (2) 六つの詩のうち、いちばんおもしろいと思った詩をえらび、その理由をおうちの人に伝えましょう。
- (3) 和田 誠^{わだ まこと}さんらの詩をさん考に、先頭の文字列で言葉ができる詩をつくり、書きましょう。

※91 ページ②詩を作る の＜くふうのれい＞をさん考に詩をつくってもよいです。

◆「カンジーはかせの音訓かるた」（教科書㊦92～93 ページ）に取り組めます。

- (1) 92 ページの 1 に取り組ましましょう。
- (2) 148 ページ「これまでに習った漢字」、153 ページ「この本で習う漢字」をさん考に、93 ページの 2 に取り組ましましょう。



かるたの読みふだ
らしく、五・七・五
のリズムにすると
いいね。

◆「漢字の広場 6」（教科書㊦94 ページ）に取り組めます。

- (1) 教科書に書かれている漢字を音読しましょう。
- (2) ＜れい＞をさん考に、修飾語^{しゅうしよく}を使って、絵の様子をくわしく表す文を書きましょう。

※ 94 ページにのっている言葉を、全部使いましょう。

※ 一つの文に、94 ページの言葉を二つ以上使ってもよいです。

※ 29 ページ「修飾語を使って書こう」、157 ページ「言葉のたから箱^{ばこ}」をさん考にするとよいです。

◆「ありの行列」（教科書㊦95～104 ページ）に取り組めます。

この学習では、お話を読んで引きつけられた（強くきょうみをもった）ことや、もっと知りたいことを文章に書きます。「すがたをかえる大豆」などで学んだ『はじめ』『中』『終わり』の大きなまとまりや、『つなぎ言葉』をとらえながら学習します。（今回と次回で「ありの行列」を学習します。）



- (1) 全文を音読しましょう。
- (2) 文章を読んで、「はじめて知っておどろいたこと」を書きましょう。
- (3) この文章は、全部で9段落^{だんらく}まであります。段落分けをして、教科書に段落の数字を書きましょう。
※段落は、文のはじめが一マス下げて表されています。
- (4) 九つの段落を『はじめ』『中』『終わり』に分けましょう。
※この文章では、七つの段落が『中』になります。

【書写】

＜毛筆^{ひつ}のきほん＞

- (1) 教科書４～５ページを読み、用具のじゅんびやあとかたづけについて、たしかめましょう。
- (2) 教科書６～９ページの写真を見て、しせいや筆^{ふで}の持ち方^も、をまねしてみましょう。
- (3) 教科書１０～１１ページの学習を行います。点線の入った点画^{ゆび}を指でなぞり、□にその名前を書きこみましょう。

＜漢字^{かんじ}の筆^{ふでづかい}使い 横画＞

- (1) 教科書１２ページを読み、横画の書き方についてかくにんしましょう。
 - (2) 始筆、送筆、終筆をいしきして、１３ページのお手本を指でなぞってみましょう。
 - (3) すみをつけていない筆をもって、１３ページのお手本を筆でなぞってみましょう。
 - (4) 「二」をすみをつけて筆で書きます。１２ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。
- ※習字道具の用意がむずかしい人は、鉛筆（えんぴつ）で書いてみましょう。

＜漢字の筆使い たて画＞

- (1) 教科書１４ページを読み、たて画の書き方についてかくにんしましょう。
- (2) 始筆、送筆、終筆をいしきして、１５ページのお手本を指でなぞってみましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、１５ページのお手本を筆でなぞってみましょう。
- (4) 「土」をすみをつけて筆で書きます。１４ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。

＜漢字の筆使い おれ＞

- (1) 教科書１６ページを読み、おれの書き方についてかくにんしましょう。

- (2) 始筆、送筆、終筆をいしきして、16 ページのお手本を指でなぞってみましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、17 ページのお手本を筆でなぞってみましょう。
- (4) 「日」をすみをつけて筆で書きます。16 ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「詩のくふうを楽しもう」では、特徴的な形式をもつ詩が掲載されています。音読などを通して、そのおもしろさを存分に味わうことが大切です。それぞれの詩に対して「どのように感じたのか」、「どこが気に入ったのか」などについて、聞いてみてください。
- ・「ありの行列」は、今回と次回の2回にわたって学習します。教科書P97の二次元バーコードを読み取ると、「働きありが行列をつくる過程」を動画で学ぶことができます。次回、文章の中身を学習する際の参考になります。
- ・書写の学習については、これまでの学習の中で取り組んでいないページがありましたら、ぜひ取り組むように声をかけてください。二次元バーコードを読み取ると動画で筆の運びなどを視聴することができます。
- ・半紙や墨など習字道具の用意が難しい場合は、硬筆の学習に取り組んでください。